

体育科

1 昨年度の授業改善プランの検証 【成果（○）と課題（●）】

知識・技能

- 全学年において、学習資料や学習カードを工夫することで、運動の行い方を知ったり、技能のポイントを理解したりすることができた。また、身に付けた知識や技能を次時に活かしていけるような振り返りをする中で、学習内容の理解を深められた。
- 体力テストの結果から、1～5年生で多くの種目において昨年度の結果を上回ることができた。
- 自己の課題を解決するために、課題解決の場を提示したが、適した場を選ぶことができていないことが多かった。どのような運動をすれば課題を解決できるのかの理解ができていないことが多かったため、今後は課題をもたせるとともに、解決方法の理解を深めていくことが求められる。
- 体力テストの結果から、6年生においては、運動量が減ったことから、昨年度の結果と同等であった。

思考力・判断力・表現力等

- 身体能力を向上させるための手立てとして、協働的学習を盛り込んだペアやグループによる学び合いの場を様々な運動領域において設定した。また、ICT機器を活用したアプリケーション（以下ICTと記す。）で動きを撮影したり、資料を確認したりして、互いに動きや技のポイントを伝え合うことで、思考する力が高まった。
- ペアやグループで学習することで、お互いの動きを見合ったり、アドバイスをしたりすることはできたが、相互に教え合うのではなく、一方的に教えるなどの様子も見られ、全児童が自分の考えたことを表現する力が身に付いたとは言えない。今後、ペアやグループ学習の行い方を発達段階に応じて検討する必要がある。

主体的に学習に取り組む態度

- 粘り強く学習に取り組めるように学習過程を工夫し、PDCAサイクルを中心にした授業を行うことができた。
- 体育学習を通して、運動に肯定的な思いをもっていない児童がいたこともアンケート結果から分かった。そのため、体育学習に意欲的に取り組めるような手立てが必要になる。また、課題に対する振り返りを行えていない児童も多くいた。

2 授業改善プラン

低学年		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己の学習課題に適した運動の場を選ぶことができるように、遊びの場を複数用意する。 ・ 身に付けた知識や技能を今後につなげていくことができるように、学習カードにポイントやコツを記録する。また、次時に向けて取り組みたいことなどを具体的に記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が考えたことを友達に伝えることができるように、ペアやグループで動きや技を見る視点を明確に与えて運動に取り組めるようにする。 ・ 運動の特性や児童の実態に応じて段階的な練習の場を用意し、ペアやグループごとに、簡単な練習に取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 単位時間の終末には振り返りの時間を設定する。選択肢を用意したり、めあてに対する振り返りをしたりする習慣を身に付けられるようにする。 ・ 学習の目的を明確にし、児童とともに学習課題や学習計画を立てる。
中学年		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己の学習課題に適した運動の場を選ぶことができるように、運動の場を複数用意する。 ・ 身に付けた知識や技能を今後につなげていくことができるように、学習カードにポイントやコツを記録させる。また、次時に向けて取り組みたいことなどを具体的に記入させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達からのアドバイスを通して運動技能を向上させることができるよう、相手に「見てほしい」「伝えたい」視点を伝えてから運動に取り組めるようにする。 ・ 運動の特性や児童の実態に応じて段階的な練習の場を複数用意し、ペアやグループごとに、自己の学習課題に合った練習に取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 単位時間の終末や単元の終末には振り返りの時間を設定する。めあてに対する振り返りをするように声を掛け、次時の課題をもてるようにする。 ・ 学習の目的を明確にし、児童とともに学習課題や学習計画を立てる。
高学年		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 方法や効果の分かりやすい練習を複数提示し、自分たちで繰り返し練習できるようにする。 ・ 身に付けた知識や技能を今後につなげていくことができるように、学習カードにポイントやコツを記録させる。また、次時に向けて取り組みたいことなどを具体的に記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正しい運動方法や技の完成例等と見比べ、めあてや課題に即したアドバイスができるよう、自分が「見てほしい」「伝えたい」視点を伝えた上で運動に取り組めるようにする。 ・ 運動の特性や児童の実態に応じて段階的な練習の場を複数用意し、ペアやグループごとに、自己の課題に合った練習方法や場を自ら選択させ、取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 単位時間の終末や単元の終末には振り返りの時間を設定する。振り返りの視点を示して、成果と課題を認知し、自らの学習を調整しながら学習を進められるよう指導する。 ・ 学習の目的を明確にし、児童とともに学習課題や学習計画を立てる。 ・ 休み時間の運動遊びを奨励する。